

経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から 3374 日 原発再稼働糾弾！

第 323 号

編集・発行
テントひろば運営委員会

11・16 持続可能な共生社会を考える

—排外主義の台頭の脅威と闘うために私たちには何が求められているのか—

日本では、7 月参院選挙で外国人排斥を公然と掲げる政党が躍進し、自民党と議会与党を構成する。彼らを支持する日本人による、外国人に関するデマ・フェイクが SNS やネット上に溢れ、外国メディアでは日本でも他の先進国同様に移民排斥を掲げる極右政党が躍進したと報じている。

「排外主義政党」の躍進にあおられ、事実に基づかない差別・偏見に基づき、外国人に対する人権侵害と排除を強化しようとする動きが、他の政党にも拡大するのだろうか。

外国人への差別・偏見を背景に、5 月には入管庁が「国民の安心・安全のための不法滞在者ゼロプラン」を決定。国際人権法の原則に反する外国人住民の強制収容、強制送還を拡大するだけでなく、子どもの権利条約を無視した親や子の強制送還が行われている。

日本で暮らす外国人は現在では 376 万人（人口比 3.04%；24 年末）と、他の先進国の 1 割前後という水準よりは少ない。しかし日本で働く外国人労働者は 230 万人（24 年）で、建設、医療・福祉、農漁業、コンビニなどの労働現場が、日本の高齢化社会は外国人に支えられている。しかし、戦後の日本は一貫して「日本人ファースト」社会であった。そのため、戦後 80 年経過したいまも、旧植民地出身者に対する旧外登法などによる差別が実質的に維持されて、現在の外国人差別政策では難民申請が殆ど認められていない問題がある。

経済産業省が発表した未来人材会議による「未来人材ビジョン」（22 年 5 月発表）では、いまや人口減少社会に突入した日本は、政府見通しでさえ 2040 年に必要な外国人労働者が 674 万人と試算し、外国人労働者の労働供給ポテンシャルが不足して、社会システム全体の見直しすら指摘している。さらに生産年齢人口は 2050 年には 2/3 に減少する一方で、OECD による高度人材への魅力度ランキング（Indicators of Talent Attractiveness）では、グローバル化が進む中で日本が外国人の人権や定住権を保障しないために「選ばれない国になっている」と言われており、上記ビジョンの結論でさえ外国人から選ばれる国になるための方策や、成長分野の人材や地域経済を支える現場人材の育成の在り方など、議論が積み残しになっていると認めている。

外国人を人間・生活者として扱わず、単なる「労働力」として使い捨てる政策では、人権上も社会常識からも通用しない。こうした排外主義の台頭に直面する私たちにとって、地域で外国人と共に暮らす多民族・多文化共生社会を形成するうえで求められているのは何か。シンポジウムでは長年、移住者連帯に取り組んでいる鳥井一平さん、埼玉県川口地域で多民族・多文化の社会を共に創ろうと活動する温井立央さんがそれぞれ講演。

日 時: 11 月 15 日(土)午後 1 時開場、午後 1 時半開始～4 時半

会 場: 文京シビックセンター 4 階 ホール

主 催: 研究所テオリア・第 14 回シンポジウム

参 加 費: 1000 円(テオリア会員 500 円)

『脱原発カフェ』学習討論集会 参加の呼びかけ

放射能汚染土のバラ撒きを許すな

東京電力福島第 1 原発事故に伴い福島県内を除染し発生した放射能汚染土が今、全国にバラ撒かれようとしています。政府は今年 7 月、首相官邸に汚染土を運び込み、再利用を開始しました。さらに、霞が関の中央省庁でも再利用を進めており、地方の省庁の出先機関にも再利用を拡大させていく考えです。しかし危険な放射能汚染土を全国にバラ撒くなどということを許してよいはずがありません。このような状況に私たちはどう立ち向かうべきか、共に考えたいと思います。

11 月 30 日(日)16:00～18:00

場 所: 経産省前テントひろば 事務所

東京都港区西新橋 1-21-8 新虎ビル 2F

問 題 提 起: 渡辺 善恵さん(たんぽぽ舎ボランティア)

主 催: 脱原発カフェ実行委員会

参加費: 無料 連絡先: 080-5646-0794

「テントの華」 斎藤美智子さんが

昨年 9 月に 97 歳で永眠される

写真は、2021 年 9 月 7 日発行のテントひろばニュース第 225 号に掲載した 4 年前の写真です。当時 94 歳でした。

斎藤美智子さんは当時、設置から早くも丸 10 年となる「経産省前テントひろば」にほぼ毎日通い続け、マイクを握れば経産省に対して厳しくその「原発政策」を批判してきました。

斎藤さんは、2024 年 9 月 3 日病院にて永眠されました。

合 掌



報告 脱原発青空テント川柳句会

10月26日(日)の12時より脱原発青空テント川柳句会が開催されました。時折、小雨の降る肌寒い一日でした。今回の川柳句会参加者は5名。

席題は「抵抗」「勝つ」14時35分、投句締め切り、入選者の発表、披講となりました。

入選句が発表され、「原発は未完の技術」ミカン、抵抗だけに「歯向かう」ハム、「そんなバカな世の中に」バナナ、海苔など多数の賞品が、乱さんより入選者に手渡されました。

入選句は以下の通りです。

「抵抗」の特選

・9条をねばりねばりて持ち通す - 幸柳

「抵抗」の秀句

・抵抗せよ 汚染土まみれ 有機農 - 海の民
・知性なき 政府に 全権委任せず - 芒野
・反対の 意見示そう 言えるうち - 芒野
・14年 脱原発の 声続く - 幸柳
・理由ある 抵抗つづけ 14年 - 乾草

「勝つ」の特選

・必勝の 秘訣は金を 配るだけ - 原子力ガリレオ

「勝つ」の秀句

・あきらめず 非戦貫き 最後勝つ - 芒野
・脱原発 あきらめません 廃炉まで - 芒野
・人民の 願いは平和 我ら勝つ - 幸柳
・勝ったつもり フェイクとデマで 革新炉 - 海の民
・いつか勝つ あきらめなければ きっと勝つ - 乾草

次回の脱原発テントひろば青空川柳句会は11月30日(日)12時より開催いたします。是非ご参加ください。(芒野 S.E.)

柏崎・刈羽原発を動かすな！ ストップ「地元同意」

木村 雅英 記

柏崎刈羽 6号機の再稼働を目論んでいる東京電力は11月にも柏崎刈羽原発で LCO 逸脱トラブルを起こし、原子力規制庁が確認中。

「東電と共に脱原発をめざす会」が10月21日に明らかにしたように、フクシマが終わっていないばかりでなく、東電は経営的に破綻しており、能登半島地震で得た科学的知見からの柏崎・刈羽原発の耐震評価はできていない、制御棒にはウィスカ発生、プラント中枢の原子炉で問題山積するなど、いまや「地元同意」どころではない。にもかかわらず、経産省・原子力規制庁などが県議会に乗り込んで1000億円の札束をばらまき、新潟県の同意をもち取ろうとしている。

最近の地元紙「新潟日報」は、柏崎刈羽原発再稼働巡る県民意思、花角英世知事「県議会で確認」が11月下旬にも是非の判断表明との見出しで、次のように報じている。(2025/11/8 5:00)

東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非を巡り、花角英世知事が自らの判断を示した上で、県議会12月定例会で県民の意思を確認する可能性が高まっている。

知事は11月下旬にも再稼働の是非について自らの判断を示す見通しだ。県民意思の確認方法は、再稼働に関する関連予算案を12月定例会に提出し議決を得ることや、議会側が知事の判断を信任する付帯決議を提出することなどが想定されている。

花角知事は公聴会や30市町村長との懇談会、県民意識調査などを通じ県民の多様な意見を把握し、県民の意思を

見極めると説明。その上でリーダーとして判断し、その結論について県民の意思を確認するとしてきたが、意思確認の方法は明らかにしていない。(後略)

<https://www.niigata-nippo.co.jp/articles/-/724277>

花角英世知事、11月14日に柏崎刈羽原発視察 県が正式発表12日に地元首長と3者会談(2025/11/10 21:15)

県は10日、花角英世知事が14日に東京電力柏崎刈羽原発を視察し、原発から5～30キロ圏の避難準備区域(U P Z)に位置する7市町長と意見交換すると正式に発表した。視察は2018年9月以来、7年ぶり。12日には原発が立地する柏崎市と刈羽村の両首長とも会談する。知事は視察や意見交換も踏まえ、11月下旬にも再稼働の是非を判断するとみられる。

<https://www.niigata-nippo.co.jp/articles/-/725733>

このような状況の中で、私たち再稼働阻止全国ネットワークや経産省前テントひろばは次のオンライン署名行動を始めた。多くの皆さんの署名と多くの皆さんへの拡散をお願いする。

《オンライン署名》

柏崎刈羽原発を動かさないで！

電力消費地域に住む私たちは東電柏崎刈羽原発の電力は要りません。

東京電力による柏崎刈羽原発6号機の再稼働を止めてください。【署名サイト】<https://x.gd/lslfi>

【要請文】原発の稼働は私たちの命と暮らしを脅かします。2011年の福島原発事故後、東日本では原発電気なしで過ごしてきました。ですから私たちに原発電気は要らないのです。

柏崎刈羽原発で発電される電力の消費地域に住む私たちは原発の電気は要りません。

柏崎刈羽原発の再稼働を止めてください。

署名提出先：内閣総理大臣、衆参両議院議長、新潟県議会、新潟県知事、東京電力 以上

集会・行動予定

★11月12日(水) 原子力規制委員会 抗議行動

時間：12時～13時 (毎週水曜)

★11月14日(金) 経産省前抗議行動

時間：17時～18時 (祝日除き毎週)

経産省前の座り込み行動は、平日：12時～16時(月～木)、13～17時(金)、土・日・休日：12時～15時

★11月19日(水) 18時半～19時半

総がかり行動 衆議院第二議員会館前

★11月21日(金) 18時半～19時半

原発いらない金曜行動 首相官邸前

★11月24日(月・祝) 13時半～16時5分

東海第二原発廃炉デー大集会

★11月28日(金) 13時半～16時

JKS47 土 月例祈祷会

場所：経産省前テントひろば

★11月30日(日) 12時～15時

テントひろば青空川柳句会：選者 乱鬼龍

★12月30日(火)～1月1日(木)

「学び、遊び、つながる 請戸川河口テントひろば」

主催バスツアー実施 申込は杉山さんまで

《経産省前テントひろば》

住所：〒105-0003 港区西新橋 1-21-8 新虎ビル 2F

・電話：070-6473-1947

・郵便振替口座＝00160-3-267170

・口座名義＝経済産業省前テントひろば

WEB：<http://tentohiroba.tumblr.com/>

Mail address：tentohiroba@gmail.com